

郷土の  
石仏編

高遠石工を尋ねて

田中  
清文

## はじめに

本著は平成25年から『伊那路』（上伊那郷土研究会発行）に4回に分割し発表した「名工伝 守屋貞治——守屋家石工三代一〇〇年の足跡」と、「石仏探訪記」として調査報告した守屋貞七・孫兵衛・傳三郎の石工の彫像活動を石仏各種の観察をまじえて検討した記録など、3つのセクションに分けて再構成したものである。

本著の主題とした「Ⅱ 高遠石工を尋ねて」は、「長野日報」に新聞連載した石仏調査記録を100回にわたり発表した再録である。

筆者の石仏研究の発端は、郷土研究会の歴史・民俗部会主催による郷土に遺る「十王堂及び十王像調査」であった。現地踏査の結果から大半が消滅の現状を知るところとなり、地域に存在する守屋貞治の石仏が、現在どのようになっているかの確認調査がきっかけとなり、不明となっている行方知らずの馬頭観音像2体の探索へとつながったのである。

貞治が記録した「石仏菩薩細工」帳記載の一番から四十番までが、伊那谷伊南の領域内であることを知ると、その謎解きが始まったのである。細工帳の記載を解釈すると、貞治の彫

高遠石工を尋ねて 郷土の石仏編 \* 目次

口 絵

はじめに

I 名工伝 守屋貞治 — 守屋家石工三代100年の足跡 …………… 1

はじめに …………… 2

伊南の貞治仏再検討 …………… 4

II 高遠石工を尋ねて …………… 55

貞治の周辺の石工たち …………… 56

守屋石工三代 百年の足跡 (1) …………… 70

守屋石工三代 百年の足跡 (2) …………… 110

守屋石工三代 百年の足跡 (3) …………… 124

守屋石工三代 百年の足跡 (4) …………… 134

## 貞治の周辺の石工たち

### (二) 貞治の一番弟子 渋谷藤兵衛

一般社団法人高遠石工研究センターでは、本年(平成28年)度は貞治をより良く知るため、同期に活躍していた石工と、その彫像石仏や、後に影響を受けたと思われる石工に視点を絞り、「貞治の周辺の石工たち」をテーマに、毎月1回の現地見学を行っている。全6回の実地見学会を通して、守屋貞治とはいかなる石工であったのかを探る、研究探訪コース巡りである。

第1回は「貞治の一番弟子——渋谷藤兵衛」を中心に実施された。近年新たに発見された石仏を対比してみよう。

渋谷藤兵衛は、貞治が石工として歩み始めた天明4年に伊那市美篤の川手に生まれ、嘉永6年に70歳の生涯を終え



「地蔵菩薩像」伊那市富県桜井観浄寺境内(文化2年)

## 高遠石工を尋ねて 郷土の石仏編

---

2022年10月22日 第1刷発行

著者 田中 清文

発行者 木戸ひろし

発行元 ほおずき書籍株式会社

〒381-0012 長野県長野市柳原 2133-5

☎026-244-0235

www.hoozuki.co.jp

発売元 株式会社星雲社（共同出版社・流通責任出版社）

〒112-0005 東京都文京区水道 1-3-30

☎03-3868-3275

---

ISBN978-4-434-31095-9

- 乱丁・落丁本は発行所までご送付ください。送料小社負担でお取り替えます。
- 定価は表紙に表示してあります。
- 本書の、購入者による私的使用以外を目的とする複製・電子複製及び第三者による同行為を固く禁じます。

©2022 by Kiyofumi Tanaka Printed in Japan